



## 未来創造科 （4年生）における実践事例

教育学部附属義務教育学校前期課程 教諭 藤原良平

本校の未来創造科のテーマ「住みたいまちプロジェクト～ふるさとの明日を創ろう～」のもと、4年生では福祉の視点で松江市をみつめます。今年度は「松江のまちをもっとふくしに！附属ふくし調査隊」と題して、施設の見学や体験活動、様々な立場の方からお話を聞くなどしながら学習に取り組んでいます。

1学期には、松江市総合体育館に行き、ユニバーサルデザインの視点で施設の工夫を調べました。その後、ふせんを使い、見つけた工夫を「誰のためか」、「何のためか」という観点で分類・整理しながら、様々な立場の方のための工夫があることを理解しました。

2学期は、アイマスク体験や妊婦体験をして感じたことや知りたいことをもち、その立場の方に話を聞きました。体験と聞く活動をつなげることで、改めて自分たちにできることは何かを考えることもできました。今後はもう一度松江市にある施設の調査をしながら、「もっとこうなるといいな」を見つけ、調査報告と提案をしていきたいと思います。

